

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 10 月 26 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
1号機	・1号機タービン建屋 2号機タービン建屋	・10/25 17:31～10/26 14:01 移送実施
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・10/20 10:12～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・10/20 10:00～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・10/26 10:00～16:00 移送実施
	・仮設タンク メガフロート	・10/26 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (10/26 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位:O.P.+ 3,572 mm(水位上昇累計:4,789 mm) 10/25 7:00 から 67 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	水位:O.P.+ 2,371 mm(水位上昇累計:3,097 mm) 10/25 7:00 から 52 mm 下降

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (10/26 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.+ 850 mm (10/25 7:00 と同じ)	O.P.+ 4,072 mm (10/25 7:00 から 173 mm 下降)	O.P.+ 4,318 mm (10/25 7:00 から 41 mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,880 mm (10/25 7:00 から 13 mm 上昇)	O.P.+ 2,915 mm (10/25 7:00 から 14 mm 上昇)	O.P.+ 2,999 mm (10/25 7:00 から 8 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,186 mm (10/25 7:00 から 11 mm 下降)	O.P.+ 2,944 mm (10/25 7:00 から 11 mm 下降)	O.P.+ 3,114 mm (10/25 7:00 から 9 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 2,988 mm (10/25 7:00 から 8 mm 下降)	O.P.+ 2,991 mm (10/25 7:00 から 32 mm 下降)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5～6号放水口北側約 30m	10/25	8:40	ND	0.05	0.04
福島第一 1～4号放水口南側約 330m	10/25	8:15	ND	0.03	0.03
福島第二北放水口(福島第一から約 10km)	10/25	8:25	ND	ND	0.02
夏井川沖合 3km(上層)	10/24	6:40	ND	0.02	0.03

・その他、10/25 に採取した福島県沿岸 1 地点および 10/24 に採取した沖合 5 地点の海水における主要 3 核種(ヨウ素-131、セシウム-134、137)については全て ND。

<使用済燃料プールの冷却> (10/26 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	24.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	29.0
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	26.3
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	34

[4号機]・8/20~ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

<原子炉压力容器への注入・原子炉の状況> (10/26 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.0 m ³ /h)	68.5	70.6	119.5 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約3.1 m ³ /h,炉心スプレイ系:約7.2 m ³ /h)	73.0	78.0	122 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約3.0 m ³ /h,炉心スプレイ系:約8.0 m ³ /h)	68.6	71.9	101.5 kPaabs

[1号機]・10/25 17:48 原子炉への注水量の低下を示す警報が発生し、注水量が約3.0 m³/hであることを確認。
18:10 原子炉への注水量を約3.8 m³/hへ調整。

[2号機]・10/25 18:52 原子炉への給水系からの注水量を約3.0 m³/hに調整。

[3号機]・10/26 注水量の制御性向上のため、原子炉注水ラインの流量調整弁を取り替え。

[1~3号機]・10/26 9:47 電源強化工事による設備停止に伴い、原子炉注水ラインを常用から非常用へ切り替え。合わせて注水量を、1号機(給水系:約3.8 m³/h)、2号機(給水系:約3.0 m³/h、炉心スプレイ系:約7.0 m³/h)、3号機(給水系:約3.0 m³/h、炉心スプレイ系:約8.0 m³/h)へ調整。

15:20 3号機原子炉注水ラインを非常用から常用へ切り替え。

16:10 1,2号機原子炉注水ラインを非常用から常用へ切り替え。

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

<その他>

- ・4/10~ 作業環境改善として遠隔操作による屋外の瓦礫撤去を継続実施中。
- ・6/28~ 1号機原子炉建屋カバー設置に向けた本体工事実施中。
- 8/10~9/9 1号機原子炉建屋カバー鉄骨組立を実施。
- 9/10~10/14 1号機原子炉建屋カバーのパネルの取付を実施。
- 10/15~ 引き続き1号機原子炉建屋カバー設置に関わる関連工事を実施中。
- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化後の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・10/26 9:30 1号機原子炉建屋において原子炉格納容器ガス管理システムの設置工事の一環として、格納容器スプレイ系と原子炉停止時冷却系の接続部付近において配管切断作業のための窒素パージ等の準備作業を開始。
- 11:35 水素測定濃度が1.5%(作業実施基準:2.0%未満)であることから、配管切断箇所近傍の水素濃度測定および窒素パージするための配管穴開け作業を開始。
- 13:17 水素測定濃度が0.1%以下であることから、窒素パージを継続しながら、配管への切断作業を開始。15:15 切断作業が完了。
- ・10/26 13:05 2号機原子炉建屋において原子炉格納容器ガス管理システムの設置工事の一環として、当該システムと可燃性ガス濃度制御系を接続した系統の窒素パージ作業を開始。13:42 水素濃度が0%になったことを確認し、窒素パージ作業を終了。
10/20の配管接続時に当該系統から6.5%の水素が蓄積していることを確認したことから、対応するもの。

以上